

(Daily 日本史) ~14世紀の日本~

【問】 2002年 東京女子大学 文理(哲/日本文/英米文/史/社会/心理)

次の文を読み、続く設問に答えなさい。

(a)1336年に京都を制圧した足利家の兄弟は、(b)新たな天皇を立てて(ア)による院政を復活させ、武家政権を樹立した。逃亡した後醍醐は、自分はまだ天皇だと主張して吉野山に立て籠もったが、その勢力は南朝と呼ばれる。

武家政権の一般政務を統括した(イ)は、訴訟を裁定する一方、武士や寺社に対して戦闘や祈禱命じた。これに対し(ウ)は守護の任命権を握り、また、敵方から没収した領地を武士や寺社へ新たに給与・寄進する権限を保持していた。秩序の安定を優先し、天皇・上皇の権威に配慮して貴族や寺社勢力との共存を図った(エ)は、貴族や大寺社が武士と争った裁判において、しばしば武士に不利な判決を下した。しかし、貴族や寺社による支配を排除して自分の権益を拡大・強化しようとする畿内近国の武士たちは、このような保守的な政権運営に失望し、足利家の執事高師直による政務を期待した。息子の政務参加をねらう(オ)も、この動きに同調した。

そして、南朝軍に大勝して声望を高めた師直の台頭をきっかけに、武家政権は内部分裂を起し、(e)足利兄弟はそれぞれに支持派を糾合して抗争に突入する。兄弟はそれぞれ、不利になると一時的に南朝と和睦・同盟したが、その過程で、(d)南朝は京都の天皇を退位させることに成功し、武家側の油断をついて京都へ部隊を進出させ、「三種の神器」を取り上げて3人の上皇を全員連れ去った。狼狽した武家側は、(e)天皇の地位を後継者へ譲渡する権限をもつ上皇と、「三種の神器」とをともに欠いたまま、強引に新天皇を立てて王朝を再建した。

その後も、近畿南部の南朝勢力の他に、抗争の過程で武家政権から離反した中国地方の守護大名や、(f)九州を制圧する南朝勢力が、京都の政権に対抗した。しかし、中国地方の大内氏・山名氏を相次いで復帰させた有力守護細川頼之が、(カ)に就任して(g)足利義詮の遺児を後見し、南朝の軍事的支柱であった楠木氏をも武家政権側へ参入させ、九州探題に(キ)を起用するに至り、ようやく南朝を屈服させる段階への展望が開け始めた。

問1 下線部(a)で崩壊した後醍醐天皇の政治は、何と呼ばれるか。歴史上の呼称を書きなさい。

問2 空欄アに適する語句を、次の①～④から選び、番号で答えなさい。

- ① 大義名分論 ② 両統迭立 ③ 持明院統 ④ 大覚寺統

問3 有力貴族の西園寺公宗らは、足利兄弟に先駆けて下線部(b)と同じ目標を掲げ、下線部(a)の前年に後醍醐政権の転覆を企てた。この企てに呼応した旧得宗家の残党は、一時的に鎌倉の占領に成功したが、この事件は何と呼ばれるか。歴史上の呼称を書きなさい。

問4 空欄イ～オに当てはまる語の適切な組み合わせを、次の①～④から選び、番号で答えなさい。

- ① イ：尊氏 ウ：直義 エ：尊氏 オ：直義
② イ：尊氏 ウ：直義 エ：直義 オ：尊氏
③ イ：直義 ウ：尊氏 エ：尊氏 オ：直義
④ イ：直義 ウ：尊氏 エ：直義 オ：尊氏

問5 守護は12世紀末に創設されたが、その当初の権限事項は、一括して何と呼ばれていたか。歴史上の呼称を書きなさい。

問6 次の(1)(2)のそれぞれの内容に最も適するものを、以下の①～⑤から1つずつ選び、番号で答えなさい。

(1) 問題文の時期の守護が担っていた、「使節遵行」と呼ばれる権限。

(2) 1352年に、初めて武家政権が一部の守護に許可した権限。

① 荘園・公領の年貢の半分を、軍の維持費に当てるために差し押さえ、部下の武士たちへ配分・給付する。

② 土地台帳に登録された管轄国内の全耕地に、面積に比例する額の銭を賦課し徴収する。

③ 管轄国内の御家人たちに、京都を一定期間警備する役目を割り振り、勤務を実行させる。

④ 係争中の田地について、当事者が自分の所有権を主張して一方的に収穫する実力行使を、取り締まる。

⑤ 武家政権による裁定に基づき、妨害勢力を排除して係争地を勝訴者に引き渡す。

問7 下線部(c)は何と呼ばれるか。歴史上の呼称を書きなさい。

問8 下線部(d)の戦略を主導した人物は、それ以前の自著において、「三種の神器」の継承・保持こそが、正当な天皇の地位を示す唯一の証拠だと主張していた。

(1) この人物の姓名を書きなさい。

(2) その著作の書名を書きなさい。

問9 下線部(e)の王朝に「三種の神器」が回収されて、南朝が消滅するのは、何年のことか。西暦で書きなさい。

問10 下線部(f)の頂点に立っていたのはだれか。次の①～④から選び、番号で答えなさい。

① 以仁王

② 懐良親王

③ 大友宗麟

④ 藤原広嗣

問11 空欄カの役職は、その後15世紀にかけて、斯波・細川・畠山の3家から交替で就任するのが慣例となった。この役職名を書きなさい。

問12 下線部(g)の少年は、成人してから武家政権の支配者として権勢を確立し、さらに、出家して武家・貴族・寺社の上に君臨した。

(1) この人物はだれか。出家前の姓名を書きなさい。

(2) この人物に関する記述として適していないものを、次の①～④から1つ選び番号で答えなさい。

① 太政大臣に昇進した。

② 明帝国皇帝に臣下の礼をとり、「日本国王」と認められた。

③ 京都の東山に建てた別荘は、「銀閣」と呼ばれる。

④ 有力守護の山名氏・大内氏の勢力を、武力行使により削減した。

問13 空欄キに当てはまる人名を次の①～④から選び、番号で答えなさい。

① 今川貞世

② 新田義貞

③ 北条時行

④ 足利基氏

【解答】

問 1 建武の新政

問 2 ③

問 3 中先代の乱

問 4 ④

問 5 大犯三か条

問 6 (1) ⑤ (2) ①

問 7 観応の擾乱

問 8 (1) 北畠親房 (2) 神皇正統記

問 9 1392 年

問 10 ②

問 11 管領

問 12 (1) 足利義満 (2) ③

問 13 ①